

令和2年度 くるめ園 事業報告

1 総 括

コロナ禍でくるめ園においても、園の最大行事である1泊2日旅行が中止となり、外出制限、クラブ活動の中止、家族やボランティアの方を含む外部の方との面会や入園の制限等を実施しました。そのため、ご利用者には大変不便な生活を強いてしまい申し訳なく思っています。ただし、居室・共有部の消毒、手洗いやアルコールによる手指消毒などの感染予防対策を講じてきたことで、現在のところ新型コロナウイルス感染症の発症は抑えることができています。その中で単調な施設生活にならないように、食の楽しみや旅行気分を味わっていただこうと、年2回予定していたご利用者に縁のある郷土料理の提供を毎月実施しました。更に、ご利用者の希望を取ったうえでホテルパティシエのデザートを2回提供し大変好評をいただきました。

入退所は男性2名、女性1名と平年並みの入れ替わりとなっていますが、女性利用者につきましては、待機者が少なく新規入所まで3か月を超えています。そのため入所率が目標の96%を割り込むなど、入所対象者の見直しについては今後の課題とします。

予算に関しては、職員補充が思うようにいかず人件費等の支出が抑えられていますが、一方で紹介派遣の利用や求人広告費など採用費や、経年劣化による修繕費が毎年増加しており収支バランスにも影響が出てきています。

今後につきましてはコロナ禍で、どのようなサービス提供ができるかを全体で考えながら、ご利用者が充実した施設生活が送れるよう努力していきます。

2 中長期計画の取組結果

昨年度までの中期計画につきましては、精神保健福祉士は計画当初の2名から4名と倍増しており目標は達成できましたが、大規模修繕や建て替えを含めたまりもビル内での定期的な話し合いについては継続した目標としていきます。

3 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 提供するサービス

【目標】

- ① ケアの質の向上②ご利用者のニーズに沿った支援の実施③楽しみのある食事提供④安全な支援の確保

【取り組み】

- ・利用者個々の状態や思いにあった生活を支援するために、個別支援計画に基づき職域間の連携や職種内の協業を強化しました。
- ・日中支援の見直しを図りながら利用者のニーズに合わせた支援を提供しました。
- ・施設生活で重きが置かれている食事につきましては、単調にならないように工夫しました。
- ・高齢化・重度化している中、ご利用者には安心して施設生活を送っていただくためリスク管理の意識や介護技術の向上に努めました。

取り組み結果】

- ・コロナ禍においてもケースカンファレンスについては多職種が参加して、定期的に関係し支援計画の共有化を図りました。

・食事提供につきましては、当初年2回予定していましたが利用者には縁のある土地の郷土料理提供を、毎月1回に変更して提供することができました。また、11月と3月にホテルパティシエが作るデザート提供して、一瞬でもコロナ禍の日常を忘れて頂くことができました。

・普段の介護業務の中で難しく感じていること等を事前にアンケートを取り、その内容をもとにPTを講師に迎えて研修を実施、11名の介護職員が参加しました。

2) 人事育成

【目標】

① 職員の育成 ②専門性の向上 ③資格取得

【取り組み】

・次期介護チームにおけるリーダーの養成と新人職員の研修を通してチーム全体の底上げに努めました。

・権利擁護研修を受講したうえで、伝達研修を実施して知識をより深めていきます。また昨年に続き、外部から講師を招いて介護技術の研修を開催しました。

・今後もニーズが高まる心の悩みのある方の相談やサポートをするための資格取得のバックアップを行いました。また、介護リフトの操作技能を高めるための研修参加ができきるように調整しました。

【取り組み結果】

・コロナによる消毒作業など感染予防のための間接業務の増加や職員の退職が続いたため、底上げができませんでした。

・予定していた外部研修が相次いで中止となってしまいましたが、少しずつ遠隔での研修が開催されてきたため可能な限り参加しました。また、虐待研修については法人で開催した研修をもとに介護職員全員が参加しました。

・資格取得に関しては法人主催の資格取得研修に1名の職員が参加しています。その他、国家資格となった公認心理師には自己研鑽の制度を利用して2名の職員が研修に参加することができました。

3) 地域連携

【目標】

①施設の専門性・設備の提供 ②地域障害者への支援

【取り組み】

・施設の一部を地域住民の交流促進の場として開放し、地元のパン屋さんによる移動販売を行いました。ただし沖縄三線教室については、感染予防の観点から開催を取りやめました。

・くるめ園も地域社会の資源の一つであるという意識を持ち、施設の特徴を活用しながら地域貢献に取り組みました。

【取り組み結果】

・コロナの影響で各施設の行事等におけるボランティアの受け入れを自粛している関係で、施設内の開放を中止している状況です。パンの移動販売に関しては建物外というところで定期的に行うことができました。

・小平市の障害者就労支援センターと連携して、就労の場を提供することができ、一期生については訓練終了後に直接雇用に切り替えました。また、生活困窮者に対する食糧支援も昨年度から継続して実施することができました。

4) 財政健全化

<p>【目標】 ①利用率の安定 ②収支状況の把握</p>
<p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護施設の一時入所事業の活用や待機リストの見直し等を図りながら待機者を確保して退所時の空床期間を減少させていきました。 ・ 主任会議や職員会議で収支状況の説明をすることで、施設の運営状況を職員全体で把握し、必要に応じて予算の見直し等も実施しました。
<p>【取り組み結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員配置の関係もあり、加算対象者に限定して入所選考をしてきましたが、現在でも女性の待機者はごく少数の状態です。コロナの影響で入所前の見学や面説ができず退所後の空床期間が3か月間となってしまう、利用率も95.8%と目標としていた96%を下回りました。 ・ 四半期ごとの収支状況については会議等を通じて説明してきました。ただし、予想以上に経年劣化による建物の設備や大型機械の修繕費や入れ替え費用が増加してきています。また、職員退職に伴う求人誌への掲載や一時的な補充としての派遣職員の配置など年度当初に予想していた以上に予算が取られました。今後は法人と作製した10年趣味レーションを活用して全体的な収支の見直しを図っていきます。

4 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
6月	呼称について	職員・ご利用者とも正しい呼称を使っています。
7月	換気をしながらの冷房使用について	基準を設けて貼りだすなど工夫していきます。コロナ禍でのイライラ感を発散させる工夫を検討する。
10月	ご利用者のシャンプーを他ご利用者に使っていた。	ご利用者の都合で不要になったものですが、ご家族には謝罪し、当該職員にも厳重注意をしました。
12月	ご利用者を子ども扱いするような発言があった。	なかなか反応がないご利用者で、当該職員は工夫しながらコミュニケーションをとっていたようだが、大人としての常識的な言葉遣いをするように注意をしました。

5 発生した事故の内容

種別	件数	摘要
重大事故	2件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 嚥下機能が悪く、極刻み食で見守りが必要なご利用者に、職員が配置される前に出前で注文した寿司を配膳してしまいました。通常はカットして提供しますが、ご利用者はそのまま食べてしまいました。職員が気づき声掛けしたところ喉に詰まらせてしまいました。一時チアノーゼや意識レベルの低下も見られましたが、看護職員の対応により状態は回復するも救急車で近隣の病院へ搬送。食堂に残渣物があり、それが気管にこぼれると危険なこともあり5日間の入院となりました。 2. 朝食の準備中に食席にてお茶を飲みこぼしてしまいました。職員が状態を確認したところ、入れたてのお茶ということもあり、左胸部と大腿

		部に赤みと水泡ができていたためアイスノンでクーリングを実施しました。その後、看護職員が出勤したため状況報告、状態を確認して、風呂場へ移動して流水でのクーリングを開始しました。熱傷範囲も広がったため救急要請して近隣の病院へ搬送。熱傷部からの感染リスクが高いため園に戻っても毎日患部の消毒のための通院が必要とのことで2週間の入院となりました。
--	--	---

6 職員体制（令和3年3月31日）

	施設長	副施設長	事務員	生活指導員	医師	介護職員	看護職員	栄養士	調理員	計
職員数	1	1	2	3	2	28	3	1	7	48
うち常勤	1	1	1	3	0	25	2	1	4	38
常勤換算	1	1	1.75	3	0.1	27.6	2.6	1	5.5	43.55

7 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修テーマ	内容	講師	参加職種	延人員
介護技術	移乗（介護用リフトの操作方法含む） 体位交換 装具装着 緊張が強い人の更衣 浴室での歩行付添	間野PT	介護職員 生活指導員	10 1
事故対策	火傷の応急処置 頭部打撲の応急処置 RCA法（根本原因分析法）によるグループ討議	水野谷介護主任 細田介護職員	施設長 介護職員 生活指導員 事務職員	1 8 3 1
虐待	不適切ケアの動画鑑賞 KKM（困った・気付いた・まずいんじゃないの）の記録確認 上記を踏まえてのグループ討議	片山介護職員 山城介護職員	施設長 介護職員 生活指導員	1 8 3
調理部との懇談	食事・配膳についての意見交換 利用者の食事内容・食事形態の確認	関根介護職員 渡邊一介護職員	施設長 介護職員 生活指導員 栄養士 調理職員	1 4 2 1 3
外部研修のフィードバック	重症心身障害児者の食事支援 水分のトロミ粘度におけるくるめ園での基準設定	佐藤介護職員 三井由介護職員	施設長 介護職員 生活指導員	1 7 3

2) 施設外研修

研修名	主催	参加職種	人員
高齢の知的障害者の支援 (オンライン)	東京都障害者通所活動施設職員 研修会	介護職員	2
重症心身障害児者の食事支援 (オンライン)	東京都障害者通所活動施設職員 研修会	介護職員 栄養士	2 1
認知症の基本的理解とケアの視点 (オンライン)	東京都福祉人材センター研修室	介護職員	2
認知症を発症した知的障害者への支援に ついて考える (オンライン)	国立のぞみの園	介護職員	2
災害時の感染対策～With コロナに向けた 災害時の感染対策を考える～ (オンライン)	ナースの星 WEB セミナー	介護職員	1

8 行事の実施状況

実施月日	行事名	実施場所	参加者			
			利用者	職員	その他	計
毎月1回	変わり湯 (女性)	くるめ園浴室	毎月24	毎月5	0	毎月29
毎月1回	変わり湯 (男性)	くるめ園浴室	毎月26	毎月5	0	毎月31
11月3日	屋上昼食会	くるめ園屋上	47	15	0	62
11月17日	立川パレスホテルの スイーツデリバリー	くるめ園食堂	47	12	1	60
12月24日	クリスマス昼食会	くるめ園食堂	47	15	0	62
1月1日	正月三が日	くるめ園食堂	49	14	0	63
2日	(お雑煮・お節料理・ 間食・映画鑑賞)		49	13	0	62
3日			49	13	0	62
1月28日	新年会	くるめ園食堂	48	20	0	68
2月25日	救護部会合同俳句・短 歌の会	オンライン	2	2	0	4
3月3日	立川パレスホテルの スイーツ・ドリンクデ リバリー	くるめ園食堂	48	13	1	62